

北朝鮮による核実験強行に抗議の表明をする決議

去る2月12日、北朝鮮は、国連決議や六カ国協議など世界の厳しい批判が集中している中、3度目となる地下核実験を強行した。これは北東アジアと世界に新たな緊張をもたらすものであり、核兵器のない世界をめざして様々な努力をしている世界の人々に対する重大な挑戦であり、厳しく抗議するものである。

昨年末の国連総会では、「核兵器全面禁止条約の締結に向けた協議開始」を求める決議が、圧倒的多数の賛成で採択された。この決議には北朝鮮も賛成し、中国、インド、パキスタンの核兵器を持つ国も引き続き賛成票を投じた。

今回の核実験強行は、北朝鮮の国連総会での態度にも反し、1992年の朝鮮半島非核化共同宣言、2002年の「日朝平壤宣言」、2005年の6カ国協議共同声明で北朝鮮が合意してきた誓約を踏みにじるものである。

わが町は、2006年10月1日、「恒久平和のまち」宣言をした。世界で唯一の被爆国の国民として、戦争も核兵器もない平和な世界を実現すべく日々努力している町として、厳重に抗議し、核兵器の開発の即時停止と廃棄を強く求める。

以上、決議する。

平成25年2月18日

兵庫県美方郡新温泉町議会